



年中クラスだよ!



令和6年12月27日
富岡保育園
年中

今年も早いもので、あと数日で終わろうとしています。冬の寒さにも負けず、ホールや園庭で身体を動かして遊ぶことが大好きな年中さん。4月からスイミングや鉄棒、跳び箱、ハンドベルなど、初めてのことに沢山チャレンジし、この一年で身も心も大きく成長しましたね。今年一年、保護者の皆様には大変お世話になりました。ご協力ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。

ピアノ奏

いま年中さんは「鉄腕アトム」の曲に取り組んでいます。年少さんの頃からすると難易度が上がり、はじめは、指が思うように動かなかったり、息が長く続かなかったり、時には悔し涙を流す子もいたのですが、諦めずに次の日には自分から練習する姿がありました。

ある時Aくんが、弾いた数だけドーナツ型のおもちゃを積み上げていると、それを見て「ぼくも!わたしも!」と他の子どもたちにも火が付き、子ども同士いい刺激を受け合っている様子がほほえましかったです。そんな子どもたちの姿に、前向きな気持ちを持ち、続けることの大切さを、教えてもらっています。

引き続き楽しみながら、一人ひとりに寄り添っていきたいと思います。



こんなにたくさん!? スゴイね! えへへ... まだまだ弾けるよ!

大掃除 がんばりました!

年末最後にみんなで大掃除をしました。

雑巾で、お世話になった自分のロッカーの引き出しや、おもちゃの棚を拭き、自分のロッカーだけでなく、「〇〇ちゃんのもしてあげよっか」と、お休みの子のロッカーまでぜんぶ拭き上げ、綺麗にしてくれました。

午前中は棚を拭くことだけで終わってしまったのですが、

「お昼寝から起きたらまたしよう!」という子どもたち。

目が覚めるとすぐに「せんせい!どこ拭く??」とやる気満々!

お部屋だけでは物足りずホールにまで出て、隅々までピカピカにしてくれました。

「ロッカーもよろこんどるね～」と言う、つぶやきがかわいかったです。

感謝の気持ちを込めてお掃除することができ、気持ちよく新年を迎えることができそうです。



つぎは
ひとりで絞って
みる!



こんなに汚れたよ!

頑張った証拠だね!



きれいになあれ☆

子どもたちに心の栄養を

この頃、友だちに手紙を書いたり、お家で字の練習をしたりと少しずつ、文字や数字への興味が出てきました。書くとなるとまだ難しいようですが、年長になってからあわてて字の練習をするのではなく、今からしりとりや頭音あつめなど遊びながら、興味を引き出していくと、後で苦労しないようです。また、お正月、遠くへお出かけされるよりも、家族みんなでトランプやかるた、すごろく、凧揚げ、コマ回しなどをしたり、親子でふれ合って遊ぶことの方が、子どもたちにとっては、一番幸せなことです。なによりも、お父さん、お母さんが自分のために時間を作って遊んでくれたということが、子どもにとって心のエネルギーとなり、これからの生きていく力となるのです。

以前、「心を育む絵本の力」という題でお話して下さった上田紀人先生は、絵本の読み聞かせは子ども達の幼い記憶の「幸せな記憶」として残ります。お母さんのひざの上で聞くあたたかい声は、子どもたちに安らぎと安心感をもたらす愛情をたっぷりと感じ、情緒を安定させる(子どもの安心できる場所と時間)これこそが本当の自立につながるおっしゃいました。

お正月休みお忙しいと思いますが、どうか子ども達に心の栄養を与えてあげてください。

「子どもの心のコーチング」菅原裕子著(PHP 文庫)

- ① 愛だけが自己肯定感を育てる
- ② 「甘えを受け入れる」と「甘やかす」は違う
- ③ 愛を教える母性と責任を教える父性
- ④ 朝起こさないことから始めよう
- ⑤ 親は叱っているのではなく、自分の都合で怒っている
- ⑥ 人の役に立つ喜びこそ副作用のないやる気の種
～「えらいね」とほめるより「ありがとう」がいい!
- ⑦ 共感したとき、子どもは自ら動きたくなる
- ⑧ どう生活するか、まず親が「枠組み」をはっきり示す
- ⑨ ダメなことを言えばいほどダメになる
- ⑩ 子どもを自己実現の道具にしないで
- ⑪ 子どもは完ぺきな親を求めていない

以前、志岐小学校就学時健診の講演会で紹介して下さったものです。

